

## Visionaire (ヴィジョネア)

New York : Visionaire Publishing , 1991 -

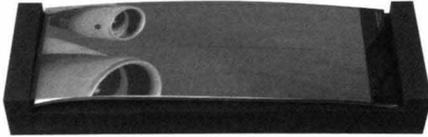
「Visionaire」は1991年、当時「Details」誌の編集者であったスティーヴン・ガン (Stephen Gan)、モデルのセシリア・デーデン (Cecilia Dem)、メイクアップアーティストのジェームス・カリアルドス (James Kaliardos) によって創刊された。スティーヴン・ガンは2001年末から米「Herper's bazaar」誌のクリエイティブディレクターでもある。タイトルは、幻想や予言などを意味する英語の visionary とフランス語の visionnaire からの造語である。新人から大御所まで様々なアーティストをゲストエディターとして迎えたり、企業やブランドとのコラボレーションを活発に行ない、雑誌としては型破りな造本を見せることから発売のたびに話題を集めている。刊行頻度は不定期で年間2-5回、発行部数は1000-6000部の限定発売となっており、現在欧米で20か国、日本を含むアジア4か国の計24か国で発売されている。本館ではNo.19「Beauty」から所蔵している。

スタートした当初6号までは判型も約22×28cmほどで形に変化はあまり見られなかったが、7号から徐々に各号ごとのサイズが変化し、雑誌の概念を逸した大胆な“冒険”が見られるようになる。限定ならではのユニークなパッケージや付録がついたものとしては、ルイ・ヴィトンのモノグラム柄セカンドバッグに入ったNo.18「Fashion special」やNo.20「Comme des garçons」(川久保玲がゲストエディター)のシーチングにジャンパースカートの製図がプリントされたもの、No.31「Blue」(リーバイスとのコラボレーション)についてシリアルナンバー入りのサックコート、などがある。特に「Fashion special」はルイ・ヴィトンという知名度の高い一流ブランドとのコラボレーションによって「Visionaire」の名を広く知らしめるには大変有効な号となった。「Comme des garçons」のパターンは服が形になる前の製図を見ることができるとして、本館での閲覧希望者も多い。

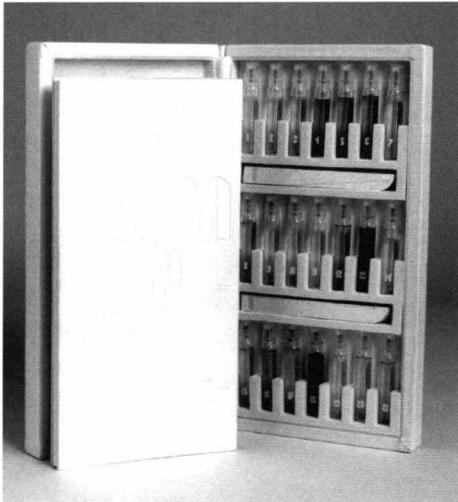
また、雑誌というより“オブジェ”と化した号も多い。No.24「Light」、No.42「Scent」が突出したものとして上げられる。「Light」は1998年発売当時、グッチのクリエイティブディレクターであったトム・フォード (Tom Ford) がゲストエディターとなった号で、電池を電源とするライトボックスを使用し、OHPシートにプリントされたマリオ・テストイーノやニック・ナイトなどによる作品を下から光を当てて鑑賞する仕掛けになっている。ライトボックス自体が大掛りな装置のため、定価も現在のところ一番高額なものとなっている。「Scent」はアメリカの著名な香料企業IFF (International Flavors & Fragrance inc.) とのコラ



No.31「Blue」



上2点 No.24 「Light」  
下はボックスを開けたところ



No.42 「Scent」

ボレーションで、カール・ラガーフェルドやデヴィッド・ボウイなどによる21枚の写真作品集とそれぞれの写真に合わせて調香師が調香した香水が21本の小瓶に納められている。

ところで「Visionaire」は発刊当初から、一般的には雑誌の大きな収入源となる広告を掲載していない。しかし10年以上この姿勢を貫き通して刊行を続け、読者を維持していくことは容易なことではない。「Visionaire」の日本での総代理店としては、元「Visionaire」スタッフであった石光史明氏が主催するVisualconnexionがある。このホームページには、広告を掲載することによって生じる数々の規制から参加アーティストの自由な発想を妨げないために、広告収入には頼らず、既存の雑誌にはない「可能性」を探していると書かれている。その時々“旬”の企業やブランドと粘り強く交渉を重ね、アーティストにとって自由な表現の場を確保し、コラボレーションによって毎号違う雑誌を作っていくというこの方法が、彼らが導き出した新しい「可能性」であったのではないだろうか。

「Visionaire」の成功により、1999年にはファッション写真を中心とした隔月刊誌「V magazine」を発刊した。「Visionaire」のような奇抜なものではないが、若手から大御所まで独自の審美眼でアーティストを採用する姿勢は同じと思われる。このほかに「Visionaire」の名前を冠した関連図書としては、ステ

イーヴン・ガンとファッションライターのアリックス・ブラウン (Alix Brown) によって先鋭的なファッション写真を集めた『Visionaire's fashion 2000 : designers at the turn of the millennium』(1997)、『Visionaire's fashion 2001 : designers of the new avant-garde』(1999) が出版されており、2002年には写真と解説で「Visionaire」の魅力伝える『Dreaming in print : a decade of Visionaire』が出版されている。

号を重ねるごとにエキセントリックな創造性を発揮しつづける本誌は、これからも注目を集める存在であろう。

(小澤万紀)